

マイタウン 2013年1月1・15日合併号に掲載

内科



福本 学

逆流性食道炎について

胸の焼けるような感じや、口の中が酸っぱい感じがする呑酸(どんさん)は、逆流性食道炎の代表的な症状ですが、長く続く不快感や痛みだけでなく、粘膜の傷害が強くなると出血をおこす場合もあります。強い酸やたんぱくを消化する作用のあるペプシンを含んだ胃液が食道に逆流すると、粘膜が傷つきびらんや潰瘍ができて症状を引き起こしますが、内視鏡で見ても明らかな傷がないのに、症状が続くこともあります。

治療の基本は酸の分泌を強力に抑える薬の

内服で、長期の服薬が必要な場合も多いので、肝機能や白血球数の異常などの副作用の有無を定期的にチェックしながら内服治療を続けます。慢性的の下痢が続く場合も薬との関連がある場合があります。日常生活では食べ過ぎない、食べてすぐに横になったり前かがみで作業をしない、就寝時には上半身を少し高くするなどの習慣が胃酸の逆流予防に役立ちます。

内科

新百合山手福本内科

☎ 955-8877

麻生区万福寺 6-7-2

メディカルモリノビル 2F

<http://www.fukumotonaika.jp>

